



鹿児島玉龍高等学校

KAGOSHIMAGYOKURYU HIGHSCHOOL

KAGOSHIMA
GYOKURYU
2017
福進

玉龍は文武両道

鹿児島大学 医学部 医学科 合格

永井 廉士 吹奏楽部
鹿玉龍中出身



私が鹿児島玉龍高校に入学してよかったと思う理由の1つに、学校が掲げる「文武両道」を全うできる環境が整っているということが挙げられます。安田ホールなどの充実した設備や、勉強・部活動の両面において多大な協力をしてくださる先生方、お互いに切磋琢磨できる仲間がいたからこそ、私は文武両道を実現することができたと思っています。特に私の場合は部活の引退時期が遅いこともあり、勉強に関して焦りを感じることもありました、「文武両道」のモットーの下、勉強部活ともに100%で取り組むことができました。

また受験シーズンになると、高校1・2年生からだけでなく、玉龍中学生からの激励メッセージも届き、「チーム玉龍」という言葉の意味を実感することができました。

私はこの伝統ある玉龍高校での3年間で、心身ともに大きく成長することができました。夢に向かって大きな一歩を踏み出す高校生活の3年間で、「チーム玉龍」の一員として玉龍高校で送ってみませんか？

様々なことに打ち込めるのが玉龍

お茶の水女子大学 文教育学部 合格

川越 桂華 書道部
鹿玉龍中出身



皆さんは高校というステージでどのようなことに取り組みたいでしょうか。勉強、部活動、学校行事…玉龍では、そのどれもが叶います。

私が3年間を通して感じた鹿児島玉龍高校の魅力は、様々なことに打ち込める環境が整っているという点です。「文武両道」をスローガンに掲げる玉龍では、勉強もさることながら部活動も盛んであり、授業中も放課後も学校は活気に溢れています。もちろん、勉強と部活動の両立は簡単ではありません。しかし、どちらも手を抜かず頑張り友達、親身になって指導してくださる先生方の存在が、私たちの大きな支えとなります。

毎回盛り上がる学校行事では、よく「チーム玉龍」の言葉が使われますが、今振り返ってみると、何気ない日常の学校生活の一コマ一コマこそが、「チーム玉龍」であったのだと思います。

皆さんも「チーム玉龍」の一員となり、かけがえのない仲間とともに、勉強に、部活に、行事に夢中になれる、充実した高校生活を送ってみませんか？

玉龍の魅力はメリハリのある雰囲気

九州大学 理学部 合格

池田 響子 サイエンス部
伊集院中出身



ここでわたしは多くの出会いを得ました。かけがえのない友達。信頼できる先生方。そして、自分自身の夢。わたしはここで多くの出会いや経験を通して、人として大きく成長することができました。これも全ては鹿児島玉龍高校だったからだと思います。

玉龍の最大の魅力はメリハリのある雰囲気の中で、勉強にも部活にも行事にも一生懸命取り組めることだと思います。玉龍生一人一人がそれぞれの高校生活の主人公となり、目の前のことに全力で取り組みます。一生懸命取り組むからこそ、多くの壁にもぶつかり、落ち込んだり悩んだりします。でも安心してください。そんな時は一緒に学び、悩んでくれる友人や、ここ！というタイミングで声をかけてくださる先生方の助けで、必ずその壁を乗り越えることができます。

一度きりの高校生活。人生を変えるような出会いと経験が待っている鹿児島玉龍高校ですごしてみませんか？

チーム玉龍の力

鹿児島大学 法文学部 合格

遠藤 伊知郎 野球部
中種子中出身



私が玉龍高校への入学を決めたのは、玉龍のモットーである「文武両道」の考えに惹かれたことがきっかけです。しかし、実際に部活と勉強を両立させるということは、簡単なものではありませんでした。気がつけば部活ばかりにウェイトが置かれ、日々の学習は提出物を出すだけで手一杯でした。部活動引退後焦りはありましたが、放課後の安田ホールでもともに勉強する仲間や、質問に対して細かな所まで丁寧に教えてくださる先生方に勇気づけられました。それに加えて受験シーズンに入ると下級生まで、私たちが受験勉強へ取り組みやすい環境づくりに協力してくれました。まさに「チーム玉龍」の力のおかげで受験を乗り越えることができました。このように、周りの人と協力しながら勉強にも部活にも取り組める素晴らしい雰囲気を持っているのが、玉龍の良いところと言えます。

中学生のみなさんも「チーム玉龍」のなかで、勉強と部活に打ち込んで、素晴らしい高校生活を送ってみませんか？

新生鹿児島玉龍は真の「文武両道」 「行学一体」を目指します。



鹿児島玉龍高等学校長
Owaki Tomoharu
大脇 友治

新生鹿児島玉龍は創立76年の輝かしい歴史と伝統を誇る鹿児島玉龍高校と、平成18年に併設され、11年目を迎える鹿児島玉龍中学校が一体となった、古き良き伝統と斬新な気風を併せ持つ中高一貫教育校です。

生徒たちは日々自分の夢の実現に向け、勉強や部活動に青春のエネルギーを燃やし続けています。昨年度は約8割の生徒が所属する部活動で、複数の部が全国大会・九州大会等へ出場しました。また、進学面でも、東京大学・東京工業大学・広島大学・九州大学を始め、地元鹿児島大学医学部等にも多数合格しています。

今、新生鹿児島玉龍には、文武両面において、皆さんの夢を実現させることのできる環境が整っています。また学校生活をさらに充実させる本校ならではの中高合同の学校行事や海外語学研修等も実施しています。さあ皆さんも「チーム玉龍」の一員となり、自分の夢実現のために、ともに頑張りましょう。

由緒ある学舎



本校の校舎が建っている敷地は、かつて薩摩藩時代の名刹であった「玉龍山福昌寺」が500年の歴史を刻んだ跡です。この福昌寺は旧藩主島津家の菩提寺であったと同時に、藩内随一の学問所として教育・文化の一大中心を成していました。明治維新の原動力になった先人達も、指導を受けています。この由緒ある史実にあやかり「行学一体」の鍛錬精神と「文武両道」の精神を本校教育のよりどころとし、その象徴として校名が「玉龍」と制定されたのです。平成2年、創立50周年記念事業の一つとして新体育館が建設されましたが、その発掘調査のとき、寺門にあった場所から中央部のへこんだ大きな踏み石がでてきました。それを見ていると、わらじ履きのすずやかな目をした若い学僧たちが、行脚のために出入りする様子が目に浮かんでくるようです。

本校は、このような学問の場にふさわしい環境のもとで、偉大な先陣の精神を台木に青少年の心を接ぎ木し、新しい時代の教育の殿堂にしようと、鹿児島市が創立した普通高校です。

自覚に裏打ちされた自由な校風

昭和15年創立の鹿児島市立中学校と鹿児島市立高等女学校を前進とし、昭和25年鹿児島県玉龍高等学校、昭和32年に鹿児島玉龍高等学校と改められ、潑刺・躍進・玲瓏の校訓のもとに、発足した男女共学の学校です。

校名の「玉龍」は「玉龍山福昌寺」の跡に創設されたことに由来し、「玉」を中心に龍舌蘭三葉をもって包む校章は、玉の如き円満な人格と昇竜の如く躍進、向上する若さを象徴するものです。

平成22年に創立70周年を迎えた本校では、その間に培われてきた「文武両道」を合い言葉に、日々心身を鍛錬し、知識を磨き、活気あふれる学校生活を生徒たちは送っています。一人一人の個性を大切にしながら各人の可能性を最大限に伸ばすために、学習環境の整備はもちろんのこと、



鹿児島市立中学校



鹿児島市立高等女学校（鶴嶺高等女学校）

学び方を学ばせるという基本方針のもとに、若いエネルギーを燃焼させています。混沌とした思考を重ねているうちに、機が熟せば先が見通せるようになるということを信じつつ、日々躍進している玉龍なのです。

現在の制服



校章



進路実現のために

現代は「選択」の時代です。「職業として何を選ぶか」という問題は、人生において重要な位置を占めます。「職業を選ぶ」、その前には、高校を卒業して、すぐに就職するのか、あるいは上級学校に進学するのかという「選択」をしなければなりません。また、全国には実に様々な大学・短大、専門学校等があり、玉龍高校にも毎日、それら上級学校から学校紹介のパンフレットがたくさん届きます。数多くある選択肢のなかから、自分の将来に最適なものを選ぶためのお手伝いをするのが、進路指導ということになります。ですから、高校での進路指導とは、いろいろな選択肢と可能性を、生徒とともに探っていくことが中心となります。あくまでも決断するのは生徒自身ということになります。



進路指導主任
吉村 晃一

玉龍高校は、創立以来のモットーである「文武両道」の実践と充実を図りながら、生徒一人ひとりの個性を大切に、これまで培ってきた人格と学力のさらなる向上を目指している学校です。

多くの生徒が大学進学を目標とし、朝課外や授業で学力をつけ、放課後は県大会上位入賞、全国大会出場を目標に部活動に取り組んでいます。朝早くから登校し、授業を受け、その後、部活動をして帰宅、それから翌日の授業の予習や宿題をする「文武両道」の実現は簡単なことではありません。しかし、玉龍には「チーム玉龍」という言葉があります。くじけそうなとき、困難に直面したとき、周りには共に同じ目標に向かって頑張っている仲間がいる、それをサポートする先生がいる、支えてくれる家族がいる、そんな玉龍生を応援するすべての人が「チーム玉龍」です。

玉龍高校では、進路実現のために、次の5つのことを一生懸命にやることを生徒に求めています。

- 1 予習・授業・復習のサイクルの確立……………授業が一番大切
- 2 5点固定の実践……………起床・登校・下校・学習開始・就寝の時間を一定に
- 3 学習習慣の確立……………課題を確実にこなす
- 4 わからないときはすぐに質問……………積極的に行動していこう
- 5 志望校の研究をする……………目標を具体的に知る

どれも当たり前のことです。受験勉強に特別なことは必要ありません。その学年、その月、その週、その日の学校の授業や行事、そして宅習に一生懸命取り組み、着実に学力がつき、志望する大学に合格できます。三者面談や二者面談の時の担任の先生からの指摘や助言を謙虚に素直に真面目に受け入れて学力向上に努めることが進路実現には欠かせません。ただ、当たり前のことを当たり前にするには相当の自律心が必要なもの事実です。ですから受験勉強は頭だけでなく、心を磨くチャンスでもあるのです。「受験」という知的冒険を経験し、心を磨く場所、それが玉龍高校です。

平成28年度入試国公立大学

合格者数127名

| | | | |
|----------|----|---------|-----|
| 北海道大学 | 2名 | 神戸大学 | 2名 |
| 東北大学 | 2名 | 広島大学 | 5名 |
| 東京大学 | 1名 | 九州大学 | 7名 |
| 東京工業大学 | 1名 | ・歯学部歯学科 | 2名 |
| お茶の水女子大学 | 1名 | 鹿児島大学 | 52名 |
| | | ・医学部医学科 | 3名 |

国立大学102名

| | |
|----------|----|
| 北教大岩見沢校 | 1名 |
| 東京学芸大学 | 2名 |
| 東京農工大学 | 1名 |
| 東京医科歯科大学 | 1名 |
| 横浜国立大学 | 1名 |
| 滋賀大学 | 1名 |
| 島根大学 | 1名 |
| 山口大学 | 1名 |
| 九州工業大学 | 2名 |
| 福岡教育大学 | 3名 |
| 佐賀大学 | 1名 |
| 大分大学 | 1名 |
| 長崎大学 | 2名 |
| 熊本大学 | 3名 |
| 宮崎大学 | 7名 |
| 琉球大学 | 1名 |

公立大学25名

| | |
|----------|----|
| 国際教養大学 | 2名 |
| 高崎経済大学 | 2名 |
| 長岡造形大学 | 1名 |
| 京都市立芸術大学 | 1名 |
| 神戸市外国語大学 | 1名 |
| 岡山県立大学 | 1名 |
| 山口県立大学 | 1名 |
| 北九州市立大学 | 5名 |
| 福岡県立大学 | 1名 |
| 福岡女子大学 | 2名 |
| 長崎県立大学 | 1名 |
| 熊本県立大学 | 3名 |
| 宮崎公立大学 | 4名 |

準大学5名

| | |
|---------|----|
| 防衛医科大学校 | 2名 |
| 防衛大学校 | 2名 |
| 海上保安大学校 | 1名 |

私立大学228名

| | |
|-----------|-----|
| 青山学院大学 | 2名 |
| 駒沢大学 | 2名 |
| 専修大学 | 3名 |
| 中央大学 | 5名 |
| 東京理科大学 | 2名 |
| 東洋大学 | 1名 |
| 日本大学 | 4名 |
| 日本体育大学 | 1名 |
| 法政大学 | 9名 |
| 明治大学 | 2名 |
| 立教大学 | 1名 |
| 早稲田大学 | 1名 |
| 同志社大学 | 3名 |
| 立命館大学 | 6名 |
| 関西大学 | 1名 |
| 関西学院大学 | 1名 |
| 近畿大学 | 8名 |
| 西南学院大学 | 10名 |
| 福岡大学 | 29名 |
| 鹿児島国際大学 | 21名 |
| 鹿児島純心女子大学 | 4名 |
| 志学館大学 | 16名 |
| 第一工業大学 | 2名 |
| その他 | 94名 |

合格者数は過年度卒生を含みます



国外体験学習 修学旅行（台湾）



昇龍祭（文化祭）



スポーツ交歓会



長距離走大会（桜島）



一日遠足（韓国岳登山）



玉龍の学校行事

これから人生の基盤を築く高校生生活に潤いをもたらしてくれるもの。それが数々の学校行事です。これらを通して、我々玉龍生は自己を発見し、自分の可能性を見出し、友情の尊さを再確認しています。

玉龍文化の祭典「昇龍祭」

平成28年度文化祭テーマは「志耀龍彩」です。生徒会を中心として生徒たち自信が作り上げる玉龍文化祭は毎年熱気に溢れ、見どころ満載。多くの方に来校いただき、好評を得ています。各学級、有志、部活動単位での参加があり、ステージ、展示発表、バザーなど、個性豊かな発表の場となっています。

国外体験学習「修学旅行」

平成27年度から訪問地を台湾とし、3泊4日の日程で実施します。国外での様々な体験を通して、国際社会に貢献する生徒の育成を目指しています。現地の歴史や文化に触れ、日常生活を直接体験することで、グローバルな視野を拡大することをねらいとします。また、班別の自主研修では、現地の大学生と英語をベースとした会話による国際交流体験を通して、日頃の学習成果を試すことができます。歴史的にも日本とつながりの深い台湾で、様々な発見をすることでしょう。

グローバルマインド発表会

高校1・2年生を中心に、総合的な学習の時間（玉龍の設定教科名は「グローバルマインド」）の研究発表を行います。

グローバルマインドとは簡単にいうと「地球上に生きる人間として持つべき生きる姿勢・モラル」のことです。具体的には以下の4点と考えていでしょう。

- (1) 基本的自己表現法を学び、積極的にかつ正確に自分の考え・意思を表現できる。
- (2) 基本的自己表現技法の中でも、特に文章による表現の導入を図る。
- (3) 現代社会の諸問題をグローバルな視点でとらえ、今後の国際社会のあるべき姿を主体的に考える。
- (4) 進路研究を通して、自己理解を深め、将来の自己のあるべき姿を主体的に考える。

週1回のグローバルマインドの時間ではプレゼンテーション能力や、小論文といった自己表現能力を、課題別コースごとの研究活動、卒業生や知識人による講演会などを通じて培っていくことを目標にしています。

玉龍高校の設備

玉龍高校は近年増改築が進み、敷地内に充実した設備がたくさんあります。勉学に励む教室ではクーラーが完備され、行事や部活動ではそれぞれ2つある体育館とグラウンドが活躍します。玉龍高校には生徒たちの行学一体を支える充実した設備が備わっています



屋外スポーツコート



教室はクーラー完備



図書館は読書環境を大切にする設計

交龍館

平成19年に完成した交龍館には、玄関ホールに作品鑑賞ができるギャラリー、2つの少人数用の学習室と、放課後自習が可能な多目的スペース「安田ホール」があり、生徒たちの多様な学習をサポートしています。



安田ホール



玄関ホール



交龍館

育龍館

平成13年に完成した育龍館には、120人を収容できる校内食堂（1F）と、80人を収容できる宿泊施設（2F）があります。宿泊施設には、浴室や保健室も完備され、部活動の合宿や勉強合宿などに幅広く活用されています。



2階「宿泊施設」



1階「校内食堂」

その他、玉龍高校には充実した設備がたくさんあります。平成28年3月に改装工事が終了した芸術棟では、美しく学びやすい環境で芸術の授業が受けられます。同じく3月に改装工事が終了した屋内プールでは、天候に左右されず年間を通して水泳を楽しむことができます。他にも平成26年3月に完成した2階建ての屋内弓道場など、玉龍高校ならではの施設が整っています。また、いつでも使用できるパソコン室やトレーニングルームもあり、生徒たちの自主的な活動を支援し、学習や部活動の活性化につながっています。



NEW
芸術室



NEW
体育館



NEW
屋内プール



屋内弓道場



パソコン室



トレーニングルーム

玉龍と言えば 部活動でしょ!!



吹奏楽
美術
写真
囲碁
演劇

合唱
家庭
文芸
華道
サイエンス

Culture
書道
放送
茶道
JRC

野球
サッカー
ラグビー
陸上
剣道

バスケット
バドミントン
バレーボール
硬式テニス
ソフトテニス

Sports
弓道
柔道
空手
卓球
水泳
応援団

ラグビー

- 第68回 鹿児島県高等学校ラグビーフットボール大会 準優勝
- 全 高等学校ラグビーフットボール大会出場
- 第35回 ブロック大会ラグビーフットボール競技出場
- 第95回 全国高等学校ラグビーフットボール大会鹿児島県予選大会 準優勝
- 第38回 鹿児島県高等学校新人ラグビーフットボール大会 準優勝
- 第38回 高等学校新人ラグビーフットボール大会出場

剣道

- 第4回 学剣連かこしま剣道選手権大会 1・2年男子 準優勝
- 第47回 鹿児島県剣道大会 男子 優勝 女子 3位
- 第60回 鹿児島県高等学校新人剣道大会 男子 準優勝
- 第22回 鹿児島県高等学校剣道選手権大会 2年男子 優勝
- 第64回 都道府県対抗剣道優勝大会 鹿児島県代表
- 第32回 高等学校選抜剣道大会 出場

弓道

- 第57回 鹿児島県高等学校新人弓道競技大会 男子個人 優勝
- 第32回 高等学校弓道新人選手権大会 男子個人 準優勝
- 第34回 全国高等学校弓道選抜大会鹿児島県予選会 男子個人 優勝
- 第34回 高等学校弓道選抜大会 男子個人

陸上

- 第67回 秋高岡陽林全国高等学校陸上競技対校選手権大会 地区予選大会出場

水泳

- 第63回 全 高等学校水泳(競泳)競技大会 出場
- 未弘杯第77回 全 高等学校新人水泳競技大会出場

バレー

- 第70回 国民体育大会2015 紀の国わかやま国体 少年男子の部 準優勝
- 第26回 全 選抜高等学校バレーボール大会出場

書道

- 第22回 美術・工芸・書道・写真展宮崎大会出場
- 第54回 ひな祭り書道展 大賞(第1席)
- 第68回 鹿児島県書道展 毛筆の部 知事賞(第1席) 硬筆の部 準大賞(第2席)
- 第62回 NHK杯 高等学校放送コンテスト ラジオドキュメント部門・朗読部門出場

放送

- 第37回 高校放送コンテスト 朗読部門出場

サイエンス

- 第39回 全国高等学校総合文化祭自然科学部門 地学部門 ポスター部門 2チーム出場
- 高等学校生徒理科研究発表大会出場 鹿児島県高等学校生徒理科研究発表大会 優秀賞(2位)

美術

- 日本地質学会第122年学術大会出場
- 小さなEarth Scientistのついで〜第13回小中高生徒「地学研究」発表会〜優秀賞(3位)
- 第39回 高等学校総合文化祭出場

平成27年度
九州大会
全国大会
出場記録



主任 3年 小林 和典 「一射絶命」の精神で

全国大会(個人)出場!

特集1 弓道部

「一射絶命」は、玉龍高校弓道部に受け継がれる言葉です。この言葉は「他者の命を絶つ」のではなく、「一射を、自分の命を絶つくらいの気持ちで射る」という意味だと解釈しています。弓道部員は男女あわせて17名。県内でも珍しい2階建ての弓道場は、3年前にできたばかりです。1階を中学生、2階を高校生が使っています。先輩後輩の隔てなく教え合い、向上しようという雰囲気の中で練習しています。大会では安定して上位に入る力をつけることを目標にしています。

平成27年度は、男子個人で県大会2回優勝、九州大会準優勝、全国大会決勝進出という結果を残すことができました。もちろん、高校に入ってから弓道を始めた部員も多くいます。玉龍高校弓道部で的に向かい、自分と向き合い、新たな自分に出逢いませんか?



気迫! 集中! 我慢!

特集2 ラグビー部



顧問 上村 誠

「歴史と伝統受け継ぐ」

昭和23年に創部された鹿児島玉龍高校ラグビー部は本年で68年目を迎えます。戦後の復興期の中、川崎敬二先生と鎌田正名氏による二人三脚で創成期を迎えました。昭和33年に創部10年目で全国大会へ初出場を果たし、それを受け継いだラグビー部は現在まで計7回全国大会へ出場しています。

本校は中高一貫校として11年目を迎えました。中学校にもラグビー部があり、連携を取りながら活動をしています。お互いの頑張る姿にお互いが影響しあっており、このような素晴らしい環境で活動できることに感謝したいです。

全国大会への道は本当に厳しく、生半端な努力では到底達成できません。しかし、生徒たちは常に意識を強く持ち立ち向かっています。歴史と伝統を受け継ぎたいという強い意志が、必ず8度目の栄冠を獲得すると強く信じています。また、それ以上に、ラグビーで学んだことが、それぞれの将来に強く強く結びつくことを指導者としては願っています。



あったか書 Do 室

特集3 書道部



部顧問 原 弘文



書道部は1年生7人、2年生7人、3年生4人の計18人で活動しています。お互いの技術と精神力を高め、先輩達が築いてきたように、学業と部活動を精一杯頑張っています。

古典を参考に、「楷書・行書・草書・かな」といったそれぞれの書体に分かれて、毎日練習に励んでいます。一年間の行事としては、最近ブームになっている「書道パフォーマンス」に始まり、揮毫大会や文化祭、合宿、様々な書道展への出品などがあります。平成27年度の主な成績として、全国書道展審査員特別奨励賞、日本学書展での読売テレビ賞、鹿児島県高校書道展での知事賞、準大賞、鹿児島県高校揮毫大会での高文連賞の受賞や九州大会出場がありました。

中学生も交えた練習や学習面での相談など学年を超えた交流の場として郷中教育を実践しており、まさしく「あったか書 Do 室」の中の「ファミリー書 Do 部」の雰囲気です。



部顧問 前田 礼子

躍進の玉吹！

特集4 吹奏楽部

ぎよくすい



吹奏楽部は、中高合同で活動しており、現在の部員数は65名です。

県内で最も歴史の古い定期演奏会をはじめ、学校行事やコンクール、市内外のイベント等に向けて取り組み、より良い音楽作りを目指して日々切磋琢磨しています。吹奏楽部の目的は、「自分を磨く」です。勉強との両立は決して容易ではありませんが、大好きな音楽を通じて、自分自身と向き合い、自分を磨き続けた先に、「なりたい自分になる」ことを目指しています。高校生活という3年間は、貴重でかけがえのない時間です。やる気さえあれば、目先ではない本当の「楽しさ」をたくさん経験できる玉龍。高校生として多くの経験を重ね、自分自身を磨き、人として大きく成長して欲しいと願っています！



アクセス MAP



- JR・JR九州バス市電 ①JR 鹿児島駅 鹿児島駅から徒歩15分
- 岩崎バスネットワーク ②清水町下車7分
- 南国交通バス ②清水町下車7分 ③上竜尾町下車5分
- 鹿児島交通バス ④久保皮膚科前下車3分
- 市バス ③上竜尾町下車5分 ⑤玉龍高校前下車3分

玉龍 HP の紹介

玉龍高校公式ホームページと進路室が発信している進路ブログがあります。是非見に来てください。



玉龍高校公式ホームページ
<http://www.keinet.com/gyokuk/index.html>



玉龍高校進路ブログ
<http://gyokuryuu.exblog.jp>



お問い合わせ

〒892-0806 鹿児島県鹿児島市池之上町20番57号 TEL 099-247-7161 FAX 099-248-3160